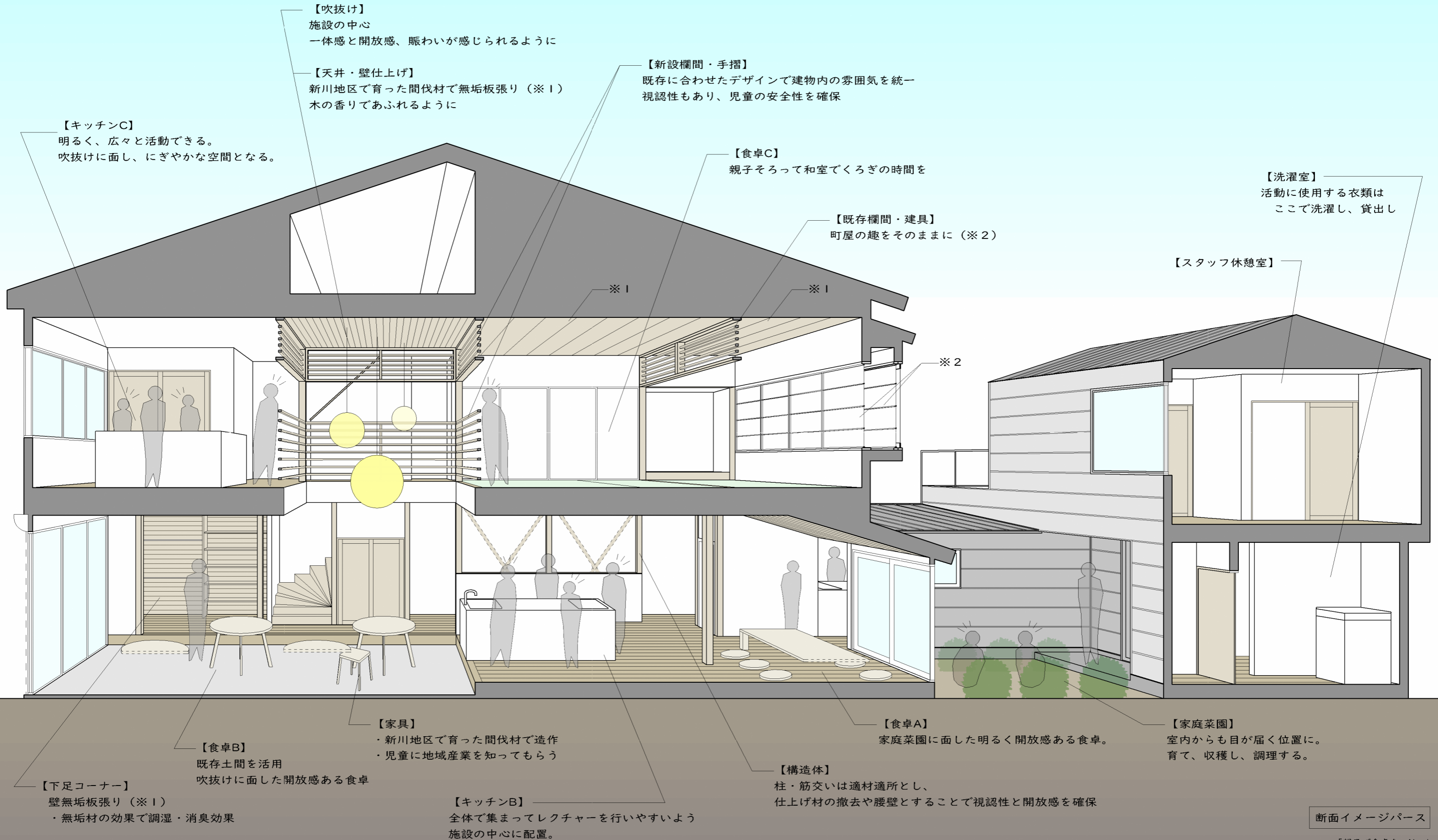


テーマ  
「子育て・親子の時間・食育」

タイトル・コンセプト

# 「親子で食卓を」 ～共働きやひとり親世帯に親子で食卓を囲む時間と場の提供～



断面イメージパース

「親子で食卓を」 No.1

**【用途】**

放課後児童クラブ（学童）

**【目的】**

- ①放課後の家庭に代わる「生活の場」の提供・児童の支援
- ②親子で食事を共にする時間と場の提供
  - ・共働きやひとり親の食事作りの時間を短縮もしくは削減し、親子で顔を合わせて食事をする時間をつくる。
  - ・こどもがひとりで食事をする「孤食」を防止する。
- ③食べる喜び・楽しみづくり
  - ・家庭菜園を通して、育てる・収穫する・食べることを楽しむ心を育てる。
  - ・他学年、他児童との交流を通して、「一緒に」活動することを楽しむ。
- ④自立心を育てる
  - ・「調理～後片付け」までを経験し、「自分でできる」ことを理解する。
  - ・調理は児童の活動、食後の後片付けは保護者と共に行い、児童同士、親子の時間をそれぞれ確保する。

**【活動内容】**

- ・家庭菜園にて野菜づくり・・・①
  - ・調理実習（夕食作り）・・・②
  - ・親子で食事（施設内、または調理したものを持ち帰って自宅で）
  - ・後片付け
  - ・その他、学童活動・・・③
- ①②③は、それぞれ曜日等により持ち回りとし、様々な活動に参加する。

周辺施設及び既設放課後児童クラブ（学童）の位置



共通事項 ・既存の間仕切り建具はなるべく撤去し、開放感と視認性を確保した。また、一体的な活動ができるよう工夫した。

**【洗濯室】**  
活動に使用する衣類（I7ロウ・頭巾等）は、ここで洗濯し、貸出とする⇒家庭の負担軽減  
洗濯・物干しまでを活動とし、児童の自立を促す

**【キッチンA】**  
最も少人数での活動  
低学年など手助けが必要な児童を想定  
調理後は食卓Aにて食事

視認性を確保し、キッチンAでも児童が安心して活動できる。

**【廊下】**  
長い壁には、レシピや献立、活動の様子を掲示。訪れた保護者に見てもらったり。

**【下足コーナー】**  
ここで靴やコートを脱ぎ室内へ

**【玄関】**  
入った瞬間に活動の様子が一見

**【家庭菜園】**  
「育てる～収穫する～調理する」過程から、「食」への喜びや楽しみをはぐくむ

**【アルミ格子】**  
既設CB撤去し、安全性に配慮

**【食卓A】**  
キッチンAで調理したものを味わう

室内からも家庭菜園での活動の様子が見えるように

**【食卓C】**  
広々とした和室  
食事はキッチンCから運ぶ

**【キッチンB】**  
建物の中心として賑わいあるキッチンに。活動前のレクチャーを行ったり、児童が集まっても手元が見やすいよう配置。

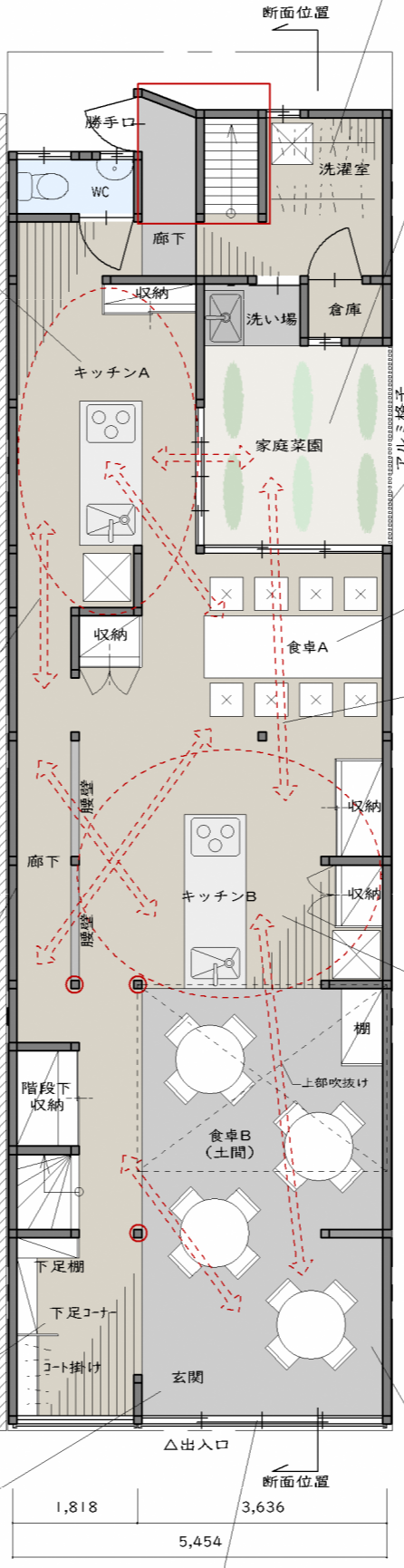
**【パントリー】**  
キッチンC用調理器具や食材、食器を収納

**【食卓B】**  
既設土間をそのまま活用

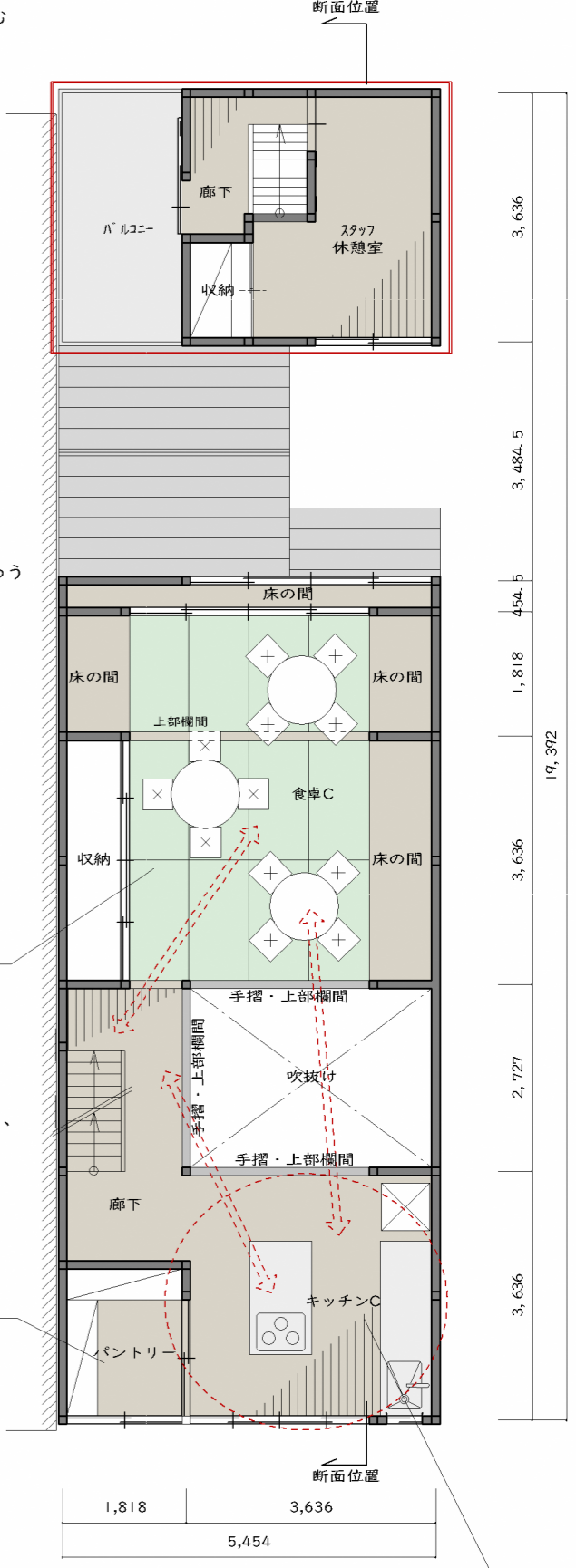
正面からは中の様子が伺え、通りに賑わいが感じられるように。

凡例

- : スタッフのみ利用
- ↔ : 視認性の確保（児童の安全性確保）
- : 柱の追加（耐震性配慮）



1階平面図(S=1/100)



**【キッチンC】**  
最も大人数での活動が可能  
役割分担や周りとの協力ができる高学年を想定

2階平面図(S=1/100)